

## 平成 26 年度 津山市立喬松小学校

### 改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月）

	学校の取組・改善方法 (課題に対する改善方法)	進捗状況 (学期末時点)	3 学期及び来年度へ向けて (具体的な達成目標や数値目標等)
	「問題を知り,課題をつかむ」「自分で考える」「友達と話し合い,考えを深める」「見つけた考えを確かめる」「まとめる」という学習過程を定着させ,基礎基本の充実を図るだけでなく,活用する力の育成も図る。	B	基礎基本の定着(90%以上) 漢字・計算の小テスト等の正答率で検証する。 既習事項を活用できる。(80%以上) 確かめテストや小テストの正答率で検証する。 アンケートの『既習事項を正しく使える』という項目のよくできると答えた児童の人数で検証する。
	資料などを基に理由を書く活動の充実を図る。	B	資料などを基に理由を書くことができる。(90%以上) 発表,ノート,テスト等で検証する。 アンケートの『自分の考えを分かっていることを理由に書くことができる』という項目のよくできると答えた児童の人数で検証する。
	算数チャレンジ等(家庭学習も含む)で補充学習の充実を図る。	B	家庭学習時間点検カードを毎日提出する。(100%) 算数チャレンジでは,児童の実態に合わせて学習到達度テストを計画的に活用していく。 ファイルとがんばりカード作成済み(3学期から) 家庭学習は,毎日学年に合った時間(6年生は70分)できるようにする。(80%以上) 自主学習の取り組みをしている。

進捗状況・・・「S:目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

